

「われもこう」

作詞 吉田 由紀子
作曲 みながわ ちかこ

われもこうの花は 小さい 小さい
われもこうの花は めだたない
だからだれも ふりむかない
だからだれも 気がつかない
でも



われもこうは だれかのために何かをしたい
何かの役に立ちたい
ずっとそうねがってる ずっとそうねがってる

わたしも だれかのために 何かをしたい
わたしも なにかの役に立ちたい

※2回繰り返し

とても小さくて 目立たない花でも
カいっぱいに 咲いて 咲いて 咲きつづけたい

われもこうは小さくて、目立たない花なので、だれからも振り向かれず、気づかれません。でも、われもこうは誰かのために何かの役に立ちたい「我もえう」と申し出たことから『われもこう』と名付けられたそうです。

知的障がいのある人達も、誰かのために何かの役に立ちたいと思い、就労することを目指しています。あかねの会では、そんなわれもこう達を応援していきたいと活動を続けています。

あかねの花

作詞・作曲 吉田由紀子

一
あかね あかね あかねの花は
小さな花の 小さな集まり
小さな花が集まって ひとつの花になる

花は小さいけれど あかねの根っこは
明るく 明るく 布を染める
明るく 明るく 人を染める
寒さから人を守り 病から人を救う

二
あかね あかね あかねの会は
小さな人の 小さな集まり
小さな人が集まって ひとつの会になる

人は小さいけれど あかねっこは
明るく 明るく 空気を染める
明るく 明るく 心を染める
悩みから人を守り 寂しさから人を救う
ひとつの花 ひとつの花
ひとつの花に なる